

現認証

本籍地

部隊名

官昇氏名

軍属

死亡年月日

昭20年12月

死亡場所

比島

死亡区分

戦死

死亡理由

現認証

本籍地

部隊名

官昇氏名

飛行二〇〇隊

106-121

戦時死亡者現認書

昭和二十年 月 日
陸軍

不籍地	[Redacted]
所属部隊	同前名 第三師団 歩兵第一旅団 第一連 第五班 召集役 昭和十七年 皇族 陸軍 一等兵 陸軍 上等兵
役種 官等 氏名	陸軍 一等兵 陸軍 上等兵
生年月日	氏名 [Redacted] 年 月 日 [Redacted]
留守担当者	現住所 氏名 [Redacted]
死亡年月日	昭和二十年七月一日 時 分
死亡場所	ルソン島内 オブラス
死 傷 受 傷 年月日 病者 氏名 受傷部位	昭和二十年七月十二日 オブラス 作戦 二歩三斬り 七三隊 二参加 迫撃砲 破片ニテ 胸部 貫通 銃創ニテ 戦死
想 本 籍 住居 氏名	[Redacted]

陸軍
昭和二十年七月一日

4-12

1429

現 實 認 證 明

本 地 所 屬 部 隊 比 島 派 遣 機 因 砲 隊 第 二 聯 隊 中 隊 長

官 氏 名 姓 名 姓 名 兵 長

一 役 種、兵 種、年 次 現 後 機 砲 隊 中 隊 長 年 月 日 生

一 死 亡 年 月 日 時 比 島 派 遣 機 因 砲 隊 第 二 聯 隊 中 隊 長 年 月 日 午 後 六 時

一 同 場 所 比 島 派 遣 機 因 砲 隊 第 二 聯 隊 中 隊 長

一 同 區 分 戰 死

一 死 亡 原 因 又 八 病 名 及 現 認 證 事 由 (發 病 年 月 日 等) 二 兩 眼 砲 彈 破 片 刺 穿 右 胸 部 砲 彈 破 片 刺 穿 左 腕 右 肩 砲 彈 破 片 刺 穿 右 腕

一 遺 骨 の 有 無 ナシ

一 遺 族 現 住 所 姓 氏 名 姓 氏 名

右 相 違 無 キ コ ト ヲ 證 明 ス

現 認 者 所 本 籍 比 島 派 遣 機 因 砲 隊 第 二 聯 隊 中 隊 長

階 級 氏 名 陸 軍 上 等 兵

姓 氏 名 陸 軍 上 等 兵

159-61

本籍地 所屬部隊固有 建築勤務ヲ三七中隊

本籍地

所屬部隊固有

建築勤務ヲ三七中隊

通稱号

成ヲ四八ニ九部隊

上等兵

昭和二十年七月十二日比島ルソニ島に於て転進中マラリヤト罹リヒロンにて戦病死す

建築勤務ヲ三七中隊

50-11

戦歿者確認(證明)書

一、死歿者所屬部隊名(通稱) 茨城 茨城 茨城

一、徵集年 昭二

役種 兵

兵種 衛生兵

一、官階(死歿前)

一、氏名

一、死歿場所

一、死亡區分(死因) 昭二 年七月十日 午後

一、死歿年月日時 昭二 年七月十日 午後

一、死歿者本籍地(留守地) 茨城 茨城 茨城

右確認(證明)ス

昭和二十二年三月八日

日

元所屬部隊名

茨城 茨城 茨城

現住所

元官等級

氏名 印

註 死亡理由、場所ハナルベククワシク特ニ終戦後ノ死亡ハ昭和ニ在死不慮ニナク者ハソノ前後ヲ

シテソノトキヲ知ラセテ下サイ

宛先

地方世話部慰恤係

石塚龍雄(龍雄) 九州書

所屬部隊 飛行第五二戦隊階級(龍雄) 陸軍曹長名

一 死 一九四二年七月十三日 昭和三十二年七月十三日 時

一 死 戦病死 北部呂宋島ナロカ東方五十料山中野戦病院

一 湯(名) 名 マラリヤ

一 死 戦病死 又遺体は焼却す。マラリヤは六月辛酉頃野戦病院に入院

死 戦病死 遺体は焼却す。マラリヤは六月辛酉頃野戦病院に入院
当日は自分もマラリヤに病状はありて立會せす
当日十五夜團の會報にて知る。

石塚龍雄(龍雄) 卒

飛行第五二戦隊

27-10

1433

現認(死亡)証明書

昭和 年 月 日
地方世話部

所属部隊 固有名 第三十三航空通信隊
通稱 威一五三三七

徴収 昭五 補 兵 歩 伍長
氏名 威一五三三七
生年月日

死亡年月日時 昭和三年七月五日午後四時頃分
死亡場所 比島ルソドナルカ
傷(病)名 腹部負傷

死亡原因 戦死
推定官以上 任官年月日

後(要)病(傷)年月日 昭和三年七月十三日

死亡時刻 昭和三年七月十三日
遺留品 遺骨 遺品 遺品
の状況 遺品 遺品 遺品

右證明候也

昭和三年四月一日

所屬部隊 第三十三航空通信隊
現任所 陸軍少佐

官等 殿

7-12

死亡者證明書

上六日

昭和二十一年八月二十日

所屬部隊 固有姓名 新編五兵第三二聯隊 通稱號 賤第一九七七四部隊

本籍地

死亡年月日時 昭和二十年七月十三日 午前九時 死亡場所 七ツツカガヲオ

死亡區分 疾病(受傷) 昭和二十年七月十三日 午前九時 死亡事由 マラリヤ 脚の穴

遺骸 現住所

遺棄者 姓名 氏名

現住所 昭和二十年十月三日 上陸地名 名石佳

現住所

遺棄者 姓名 氏名

遺棄者 姓名 氏名

死亡	姓名	[Redacted]
	部族名	建勳三十七
	通稱	四二八九
	住所	[Redacted]
	死亡した場所	只生家一白
	死亡した年月日	昭和二十二年八月
	死因	戦病死
	死の状況	
	死の場所	
	死の状況	昭和二十二年八月五日、只生家一白にて、戦病死した。死後、遺体は只生家一白にて発見された。死因は戦病死と推定される。
埋葬	埋葬場所	只生家一白
	埋葬年月日	昭和二十二年八月
	埋葬者	只生家一白
	埋葬費用	只生家一白
備考	備考	
	備考	
	備考	
	備考	

状況不明者の資料届

本籍地

上等兵

所属部隊 固有名 建勤三七中

通稱号 威四八元

昭文年一月廿七日島上陸 尔後内地に在りて勤務中昭和三十五年三月十日マリア
に四割撃つ 尔後隊に在り療養中昭和三十五年七月十日マリア島に上つた
村に於て戦病死す 死体は現地に埋葬す 遺留品なし

威四八元

上等兵

12-11

現況證明書

本籍地

津原隊 為百三師田賴重隊

昭和三十二年徵集第一補充隊

陸軍上等兵

現況七七軍校

昭和三十二年七月十二日

戰死状況

昭和三十二年七月十二日

青島

場所

比島北部カクサノ東戸二十軒ノ山中

右現況又

昭和三十二年二月六日

現況者

為百三師田賴重隊

陸軍上等兵

10-10

戦歿者確認(證明)書

一、死歿者所属部隊名(通稱) 威 二〇六〇九部隊 (ソコエ庄橋)

一、戦歿年 昭和二十一年 役種 補充兵 兵種 歩兵 階級

一、官階(死歿時) 一等兵 (死歿後)

一、氏名 [Redacted] 年 月 日生

一、死歿場所 [Redacted] カサリネス州 コランシナ附近

一、死亡區分(事由) 行動中 頭部受近接刺死

一、死歿年月日時 昭和三十年 七月 十五日 四時

一、死歿者本籍地(留守地) [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和 年 月 日

元所属部隊名 威 二〇六〇九部隊

現住所 [Redacted]

元官階 陸軍兵長

氏名印 [Redacted]

註 死亡理由、場所ハナハシクシテニ終戦後ノ死亡ハ昭和ニ生死不明ニナッタ者ハソノ前後ノクワシクオ知ラセ下サイ

宛 先 [Redacted]

地方世話部慰恤係

戦時死亡現認証明書

戦時死亡現認証明書

官氏名印	現認者所屬	死		亡		内地港灣出發 所在地到着年月日	勤務ノ概要	傷死		本籍地	區分	所屬部隊(固有名)	役種 徵集年 官等級 氏名	留守擔當者住所 氏名	死亡前ノ官等級 死亡後ノ官等級	補心 死亡前ノ官等級 死亡後ノ官等級	比島必遺 天二〇六八二部隊 「」氣村	事	
		年月日及區分	場所	傷(病)名	場所			年月日時	場所										傷(病)名
	昭和二十一年六月十六日 名古屋 上陸復員者																		
						昭和二十一年十月十七日 台湾 基隆港 出發 同年十一月十日 比島													
						マラリヤ													
						ルソン島 サンガリ州 アツシアカン													

比島の必遺(七四八)部隊 陸軍 佐長

寫

野砲兵第八聯隊
大隊本部
武蔵三八部隊

20. 7. 14
ルソン島
イホ

獸医部
曹長
准尉

代骨
依頼
有無

昭和十九年九月滿洲より比島に轉進。昭和二十年七月十四日
より東海岸に轉進中戦病死す。(一度イマライヤ) (死休中隊
にて埋葬當時指遺骨として中隊長携行せるも其の後
激戦に紛失せるもの如し。其の代骨として比島日本人
墓地より少量持参佐吾保護員に依頼せり

資
料

野砲兵第八聯隊

野砲兵第八聯隊第四大隊本部

現住所

氏名

獸医務曹長

本郷和地
所屬部隊

現認(事實)證明書

固有名南支隊長 陸軍病院 通稱名 成第 一 六 部隊

昭和十五年

年 徵集 第二種 陸軍衛生隊長

昭和十五年七月十四日午前

戦死

- 1. 死亡年月日時分
- 2. 死亡区分及傷名
- 3. 死亡場所
- 4. 死亡状況

比叻州 陸軍病院 通稱名 成第 一 六 部隊
 陸軍病院 通稱名 成第 一 六 部隊
 陸軍病院 通稱名 成第 一 六 部隊
 陸軍病院 通稱名 成第 一 六 部隊

遺骨及遺品の有無

死亡に関する書類等 遺骨と之書類 焼火

昭和十五年七月十四日

昭和十五年七月十四日

現住所

旧職官名

陸軍衛生隊長

(36)

死亡者の本籍地

留身祖考の住所続柄氏名

住所 本籍地と同じ

貫文

右相違ない事を證明する

昭和二十二年二月二十七日

Vertical text columns, likely official stamps or signatures, mostly illegible due to fading and blurring.

119-11

現認證人書

比島 派遺威為一〇六〇七部隊

陸軍一兵長

右者昭和二十年七月十四日野上リキヤカニ於テ

二見山敵陣地新込 二依リ寫死(野上リキヤカ)之ルコトヲ現認

昭和二十年三月一日

現認者元威 第一〇六七部隊 陸軍一兵長

現任所

氏名

[Redacted]

印

死亡現狀

姓名

固有名

此島水道軍統一六八二部隊

隊

職

番頭

古島道軍

隊

職年

徵集年

一軍兵

兵長

氏

死亡

一軍兵

兵長

死亡年月日時

昭和三拾年七月拾四日

時

時

時

時

死亡場所

昭和三拾年七月拾四日

時

時

時

時

死亡原因

昭和三拾年七月拾四日

時

時

時

時

死亡者本姓

昭和三拾年七月拾四日

時

時

時

時

死亡者本姓

昭和三拾年七月拾四日

時

時

時

時

死亡者本姓

昭和三拾年七月拾四日

時

時

時

時

死亡者本姓

昭和三拾年七月拾四日

時

時

時

時

死亡者本姓

昭和三拾年七月拾四日

時

時

時

時

死亡者本姓

昭和三拾年七月拾四日

時

時

時

時

死亡者本姓

昭和三拾年七月拾四日

時

時

時

時

死亡者本姓

昭和三拾年七月拾四日

時

時

時

時

19-11

1445

現認證明書

本籍地

所属部隊 陸軍第八九一六部隊 (其ノ兵令前報隊)
官氏名 陸軍 陸軍 陸軍 陸軍

役種 兵種 年次 一 補歩

一 死亡 年月日時 昭和二十年七月十五日 (乙)

一 同 場所 北都心ニカキテ州ニ在リテ北方十軒

一 同 原因 戦病死 (マラリヤ)

一 現認事由 病者ノ病名及
マラリヤ

一 遺骨 有無 無

一 遺族 現住所
氏名

右相違無キコトヲ證明ス

昭和二十年五月廿九日

現認者

階級 本籍地 陸軍第八九一六部隊
氏名 上等兵

年月日	死亡者	履歴



現認證

本籍地

現住所

右同

部隊名

比島渡道隊第一三四五部隊

野戰高射砲第七十六隊

陸軍兵長

右之者昭和二十年七月十五日

中部ルン島山中ニ於テアラリテ熱ノ爲ニ戰死ス

右現認證

昭和二十年七月十五日

隊第一三四五部隊

陸軍兵長

12-12

現 認 證

本籍地	所屬團有名	第...部	威第...部	階級	年	役	兵屬	單
	通稱	威第...部	威第...部	階級	年	役	兵屬	單
留身現住所	今太							
姓	父							
死入營(原)年月日	不明							
沒內地港灣年月日	不明							
者外他港灣到者年月日	不明							
略主要作戰名及時	不明							
履期間並其時職務	不明							
階級	不明							
其他	不明							

死 七 認 證

死 七 年 月 日 時 分 二 七 中 旬 死 七 年 月 日 時 分



死七理由

(高者名)

昭三十七年七月

昭三十七年七月

昭三十七年七月

死之前、状況（本人並折居部隊）

駿部隊（百三師團）

大隊に属し

次期作戦準備のため、ボルトフクの方

面へ前進途次、食糧、医薬の欠乏に依り、マライヤへの侵すところと

なり、昭和二十七年七月下旬、カンタラールに西二十群の他点に於て死す

死七認定理由

他人より聞く

死七認定

折居部隊 第三十戦隊飛行集団司令部

現住所

昭三十七年七月

陸軍部部長

北 部 支 隊 出 動 日 記

日 月 年	出 動 地 点	出 動 時 間	出 動 人 員	備 考
昭和二十二年七月十五日	北 部 支 隊	朝 陽	強 兵 一 マ ラ ン イ 左 衛 門 之 介	
			大 塚 幸 三 小 塚 幸 三	
			三 浦 幸 三	
			中 野 幸 三	

昭和二十二年七月十五日

出 動 地 点

北 部 支 隊 出 動 日 記

上 述 地 点 幸 三 一 九 一 〇 五

一、 出 動 日 記
 二、 出 動 地 点
 三、 出 動 時 間
 四、 出 動 人 員
 五、 備 考

戰時死亡者現認書 昭和 年 月 日 調製

本籍地	所属部隊	役	留年粗齋者	死亡年月日	死亡場所	死亡状況	現認書
[Redacted]	比島威八三九部隊	現役	[Redacted]	昭和二十年七月十五日	比島キヤガシ北アサノホ口	戦死	本籍地 [Redacted] 現住所 [Redacted] 昭和二十年七月十五日
[Redacted]	比島威八三九部隊	現役	[Redacted]	昭和二十年七月十五日	比島キヤガシ北アサノホ口	戦死	本籍地 [Redacted] 現住所 [Redacted] 昭和二十年七月十五日
[Redacted]	比島威八三九部隊	現役	[Redacted]	昭和二十年七月十五日	比島キヤガシ北アサノホ口	戦死	本籍地 [Redacted] 現住所 [Redacted] 昭和二十年七月十五日

611

隊中一第兵考時點				國有	部所
四四九二歳				海	隊属
考	一補	昭	六	兵役	任官 徵集 種年 年
()		死	兵等上	生前	級等官 (官名)
()		後	()	()	氏名 (イカリ)
[REDACTED]				[REDACTED]	
[REDACTED]				[REDACTED]	
[REDACTED]				本籍地	
父		純	氏	現	留守担当者
[REDACTED]		氏	右	本籍地に合じ	所
確度	甲	戦病	死	確度	甲
甲	確度	死	分	年	月日
確度	甲	戦病	死	五	年
確度	甲	戦病	死	昨ニ、七	場所
確度	甲	戦病	死	ロンドン島	事由
確度	甲	戦病	死	遺留	遺骨
確度	甲	戦病	死	死	況

死亡確認書

右確認す
昭和三年二月十四日
旧前隊部
旧官等級
死之者との関係
現任所
氏名

臨時考兵第一中隊
伍長
戦友
[REDACTED]

10-11

第...
第...
第...

現認證明書

比島派遣

第一三四兵站病選隊
部隊

陸軍屬

[Redacted]

右者昭和二十年七月十五日カラバンニ於テ

悪性マダラニ依リ戰死(戰病死)セルコトヲ現

認メ

昭和二十年四月五日

現認書元第一三四兵站病選隊

現住所

官等氏名

陸軍屬

[Redacted]

[Redacted]